

### 第3節 7日目：2月18日（水）：有田～佐世保 快晴

2026年2月18日（水）快晴、西九州の旅の7日目は、佐世保線の有田駅から佐世保駅までの営業キロ20.6kmに挑戦する。昨日と一昨日は重いリュックを背負っての歩きのため、営業キロを短めにしたプランとした。結果、大正解であった。今日は身軽な格好でかつ終着駅が佐世保であったので、精神的にも身体的にも楽な行程であった。ホテルで朝食をゆっくりとり、佐世保7時34分の2両編成で有田駅まで移動する。早岐駅で先頭車両が後発車両となる。このような車両は、遠い昔、新潟駅で体験した。懐かしくなる。



※佐世保駅



※いざ有田駅へ



※有田駅

本日の各駅舎立ち寄り時刻は、次の通り。

有田(8:10)～三河内(10:42)～早岐(はいき、12:00)～大塔(だいとう、13:30)～日宇(ひう、14:20)～佐世保(15:25)

①有田駅には8時5分に到着する。駅前を種々のアングルで撮影してから、8時10分この駅をスタートする。鉄道に沿った路地を歩き、幹線道路には8時16分合流する。8時17分、朝日生命の営業所があった。8時25分、有田町原宿交差点を通過。8時27分より、68歩ある南川良橋(有田川)を渡る。8時32分、南川良原バス停前(コミュニティバス)を通過。8時40分、右手に松浦鉄道と佐世保線が分岐する地点に到達。この限界で1両編の非電化の松浦鉄道の車両と対面する。8時46分、南原交差点を通過。8時48分、国道35号線に合流するや否やJR線下を潜り鉄道の右側となる。三代橋バス停(9時53分)があった。8時55分、平戸59km、佐世保19kmと記した標識前を通過。9時5分、平戸、佐世保、唐津、伊万里がある標識前を通過。9時15分、武雄から17km地点に到達する。9時18分、原明バス停前(西肥バス)を通過。丁度、武雄温泉方面に向かう2両編の列車と対面する。9時25分、右手に竹林が続く。9時26分、県境バス停前を通過。ここから、三河内駅への道筋は遠かった。



※国道 35 号線合流までの路



※県境バス停までの路

9 時 27 分、平戸 57 km。佐世保 17 km と記した標識前を通過する。佐世保駅で今朝停車していたアニメ一杯描いた特急車両と対面する。9 時 36 分、佐世保市木原町を通過する。右手には沼があったが濁水状態であった。9 時 48 分、有田方面に向かう 2 両編車両と対面する。9 時 51 分、木原口バス停前を通過。9 時 59 分、江永口バス停前を通過。10 時 1 分、左手には江永皿山の案内板があった。10 時 10 分、武雄から 20 km 地点に到達。10 時 23 分、三川内小学校バス停前を通過。10 時 29 分、佐世保市役所三川内支所前を通過。10 時 31 分。三川内郵便局があった。嬉野踏切を横切り、鉄道の左側となり 200m 位戻った先に三河内駅（みかわち）があった。



※湯水沼までの路



※三河内駅への路



※三河内駅

②再び、嬉野踏切を横切り鉄道の右側となる。10時53分より、70歩ある橋を渡る。10時59分より小森川を渡る。老犬から挨拶される。11時6分、桑木場町交差点を通過。11時26分、上原町交差点を通過。11時45分、下苗手踏切横切り、鉄道の左側となる。11時47分、道路下を潜る。早岐駅には12時、到着する。駅通路を經由し、早岐駅西口（12時6分）に移動する。イワモトコーヒーに立ち寄り、20分間位小休止する。チーズケーキがとてもお良かった。この店を12時39分に出る。



※下苗手踏切までの路



※早岐駅への路





※早岐駅



※イワモトで一服

③12時41分、早岐交番があった。12時45分、早岐神社前で本日の安全を祈願する。12時47分、今歩いている道路は国道202号線とあった。12時51分、早岐瀬戸海岸線を歩く。13時10分、勝磯バス停前を通過する。この界隈にセブンイレブン（佐世保勝海町店）があったので、カッシーチラシをコピーする。13時17分、田の浦町交差点で国道35号線に合流する。13時19分、アニメを描いた特急が佐世保に向かって通過して行く。13時21分、武雄から27km地点に到達する。大塔（だいとう）駅には13時30分に到着する。この駅は、下りと上りのホームが分離していた。



※早岐神社、川沿いを歩く



※大塔駅への路



※大塔駅

④13時35分、長崎62km、平戸49kmと記した標識前を通過。13時40分、佐世保地所前を通過。道路を挟んでユニクロとドンキホーテがあった。13時44分、武雄から28km地点に到達する。13時55分、ジャパネットのビルあった。13時59分、武雄から29km地点に到達。14時10分、日宇側道橋にてJR線を跨ぎ、鉄道の右側となる。14時13分より、59歩ある日宇川（日宇大塔町線側道橋）を渡る。日宇駅には14時20分に到着する。





※日宇駅への路



※日宇駅

⑤14時30分、平戸45km、佐世保市街5kmと記した標識前を通過。14時35分、コッペ田島星乃珈琲前を通過。ここで国道35号線をそのまま進むか鉄道下を潜り、鉄道の左側の幹線道路を進むべきか迷う。国道35号線のルートは線路から大きく迂回した道筋となっている。右往左往した結果、少しでも近い道筋である後者を選択する。路線バスがこの幹線道路を走っていた。道路は狭いが民家や商店街がこの道筋には一杯あ

った。15時、大宮公園前を通過。その先のT路地を右折し鉄道下を潜り、国道35号線に合流する。この合流した交差点は福石町とあった、この交差点の向こう側の道路に面して福石観音五百羅漢があった。15時10分、福石観音前バス停を通過。15時11分、印象的な建物である佐世保齋場があった。15時15分、武雄から33km地点に到達する。15時16分、若葉交差点で松浦56km、平戸42kmと記した標識前を通過。15時20分、20数年前宿泊したワシントンホテルがあった。佐世保駅には15時25分に到着する。これで3日間で佐世保線（江北～佐世保：営業キロ48.8km）の踏破が完成する。達成感に浸る。万歩計は40,625歩をマークしていた。佐世保第一ホテルには15時25分に到着する。



※国道35号線を歩く



※国道35号線を左折する



※旧街道を歩く



※国道 35 号線に戻る



※佐世保駅

⑥再び佐世保駅に訪れ、明日の松浦鉄道の下見旅を研究する。観光案内で松浦鉄道について色々お伺いした後、松浦鉄道の窓口まで出向くことにする。基本的には、昨日、有田駅で教えて頂いた一日乗車券（2,500円）を購入して臨むことにする。その購入方法や時刻表を松浦鉄道の窓口までお邪魔してお伺いする。運よく係員の方と出

会いお伺いできる。一日乗車券は、明日運転手さんを経由して購入できると教えて頂く。加えて、時刻表や平戸の観光パンフレットを頂く。これにより、明日佐世保発8時5分の列車で伊万里まで乗り鉄旅をすることにする。伊万里には10時57分に到着。そこから、11時36分の列車でたびら平戸口（12時47分）まで移動。ここからタクシーで平戸観光をしようとする。遅くとも16時19分の列車に乗れば、佐世保駅には17時48分に到着できる。この旅プランで明日臨むことにする。



※松浦鉄道の下見

⑦ホテルには16時22分に戻る。汗を流した後、昨日お邪魔した” 櫂艦 ”（かいろ）で英気を養う。充実した一日であった。



#### 第4節 8日目：2月19日（木）：松浦鉄道下見&平戸観光 晴れ

2026年2月19日（木）晴れ、西九州の旅の8日目は、将来の踏破を目指し松浦鉄道（佐世保～有田：営業キロ93.8km）の下見に挑戦する。時間の関係から下見区間は、佐世保から伊万里までの80.8kmとする。伊万里から有田までは、下見をしなくても歩けそうなのでパスする。下見の主な目的は、大村線（早岐～諫早：52.4km）と合わせ、如何に旅プランを設定すれば松浦鉄道を踏破できるかの研究である。その結果、以下のような旅プランで将来臨む方針とする。

大村線・松浦鉄道旅プラン				
1日目	移動日			佐世保泊
2日目	大村線	諫早～千綿	26.0	佐世保泊
3日目	大村線	千綿～早岐	26.4	佐世保泊
4日目	松浦鉄道	佐々～佐世保	19.8	佐世保泊
5日目	松浦鉄道	佐々～平戸口	22.8	平戸泊
6日目	松浦鉄道	伊万里～松浦	22.6	平戸泊
7日目	松浦鉄道	松浦～平戸口	15.6	平戸泊
8日目	松浦鉄道	伊万里～有田	13.0	佐世保泊
9日目	移動日			

<本日の行程>

朝ホテルで朝食をとり、7時半頃、佐世保第一ホテルをチェックアウト。荷物をフロントに預かってもらい松浦鉄道の下見・平戸観光を次のプランで臨む。

世保 8 : 05 → 伊万里 10 : 57

伊万里 11 : 36 → たびら平戸口 12 : 46

平戸タクシー貸切 (2時間) で観光 (マンボタクシー: 0950-21-1188)

たびら平戸口 15 : 46 → 佐世保 17 : 07



※佐世保第一ホテルチェックアウト



※佐世保駅に移動

<松浦鉄道下見>

松浦鉄道を下見して、山間となる江迎鹿町～すえたちばな～西田平辺りが特に難所であると察知する。松浦鉄道を踏破する際の宿泊先は、平戸口駅が便利であると察知する。今福駅と福島口との間に、長崎県と佐賀県との県境があった。



※たびら平戸口駅までの車窓風景



※久原駅までの車窓風景



※伊万里駅までの車窓風景





※伊万里駅



※たびら平戸口駅までの車窓風景



※たびら平戸口駅

<平戸観光>

貸切タクシー（2時間）のおかげで、平戸島と生月島の観光を効率的にできる。しかも、丁寧な解説があったので、2時間を有効に過ごすことができる。小松様ありがとうございました。

たびら平戸口駅～平戸大橋（12:59）～千里ヶ浜（13:12）～生月大橋（13:30）～島の館（13:34）～塩俵の断崖（13:55）～やまと（14:06）～生月大橋～平戸市中心部～平戸大橋（14:37）～たびら平戸口駅（14:59）



※平戸大橋：九州と平戸島を結ぶ橋

※生月大橋：平戸島と生月島を結ぶ橋



※平戸大橋を渡る直前



※千里ヶ浜への路



※千里ヶ浜



※生月大橋を渡って



※島の館





※長崎



※塩俵の断崖



※巡視船”やまと”



※遠くに中江ノ島



※平戸市内を經由



※平戸大橋



※たびら平戸口駅

たびら平戸口駅で30分位時間がたったので、日本最西端の駅”たびら平戸口”鉄道博物館に立ち寄る。そして、15時46分の列車で佐世保駅まで移動。朝、佐世保第一ホテルで預かって貰った荷物を受け取り、10分位離れたセントラル佐世保まで移動する。





※松浦鉄道で佐世保まで移動



※セントラル佐世保へ





※權艦で佐世保の最後の夜を堪能する